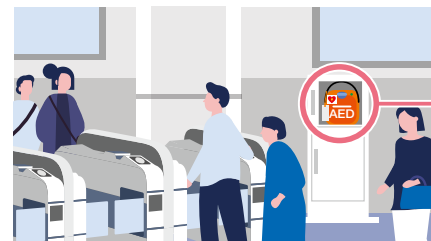


日本光電の事業紹介

日本光電は医療機器メーカーです

救急現場、検査、診断、治療、リハビリ、在宅医療…。

日本光電の事業・製品は、医療現場を幅広くサポートし、安全と安心を提供し続けています。



駅や空港、体育館、大型商業施設など



AED

病棟 集中治療室 手術室



人工呼吸器



生体情報モニタ



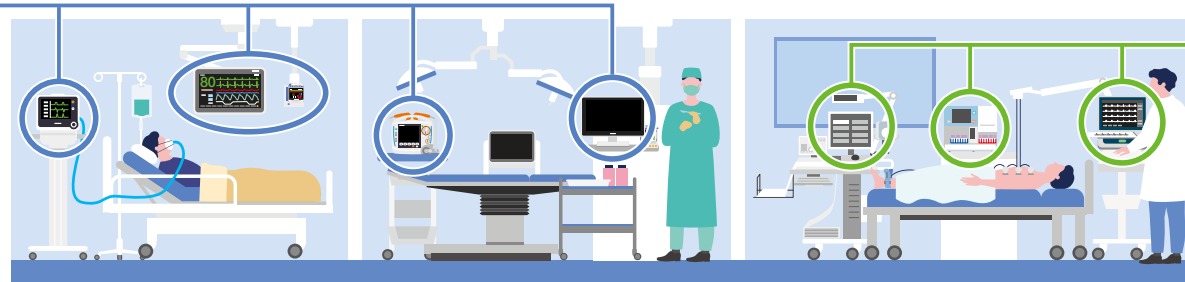
除細動器



ナースステーション



生体情報モニタ



検査室



脳波計



心電計



血球計数器

救命救急室



生体情報モニタ



除細動器



待合室



AED

日本光電の主要製品

AED

心室細動を起こした心臓に電気ショックを与え、正常なリズムに戻すAED。日本光電は日本初の国産AEDを開発・生産しています。救命率の向上のため、誰もがためらいなくAEDを使用できるよう取り組んでいます。



脳波計

てんかんや脳血管障害、睡眠障害などの診断に欠かせない脳波計。日本光電の脳波計は世界で高いシェアを獲得しています。また、救急領域や集中治療の場でも簡単に脳波を測定できるEEG※ヘッドセットは、迅速な診断・治療を可能にすることで患者さんの救命率や予防向上につながると注目されています。

※ EEG (Electroencephalogram) : 脳波。



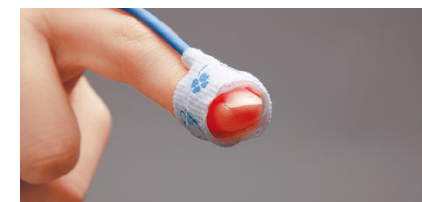
人工呼吸器

自社製としては当社初の人工呼吸器を2019年に発売。多彩な換気モードと独自技術で、様々な医療現場に適した安全な人工呼吸管理をサポートします。また、日本人の骨格に合わせたマスクも同時開発。より快適なフィット感で、患者さんのQOL向上につなげます。



パルスオキシメータ

動脈血中に含まれる酸素 (SpO₂) を、採血せずに連続的に測定する装置。パルスオキシメータの原理は、1974年に当社の技術者青柳卓雄博士 (2020年逝去) が発明しました。「痛みを伴わず」「リアルタイムに」「連続して」測定ができるという画期的な技術は現在、世界中の医療現場で患者さんの容態把握にはなくてはならないものとなっています。



生体情報モニタ

患者さんの心電図、体温、SpO₂ (動脈血酸素飽和度)、NIBP (非観血血圧) などを連続してモニタリングする生体情報モニタは、手術室や集中治療室、一般病棟など様々な医療現場で活用されています。日本光電では、かかりつけ医向けの簡易モニタから病院内の搬送用モニタ、集中モニタリング機能を備えた高度なモニタリングシステムまで、幅広いラインアップを提供しています。

心電計

心疾患の診断において最も一般的な検査機器である心電計は、様々な医療現場に幅広く普及しています。日本光電では、医療現場ごとの検査目的に応じた扱いやすさを追求し、検査データの電子化や独自技術による多様な解析情報を提供することで、心疾患の診断をサポートしています。



検体検査機器

検体検査分野では、血液中の血球数を測定する血球計数器のほか、糖尿病の指標であるHbA1c※1や体内の炎症の度合いを表すCRP※2などを測定する機器を開発。より少ない血液量で正確な測定を可能にする独自技術や、医療従事者をサポートする操作性・機能性を追求しています。測定に必要な試薬も開発・生産しています。

※1 HbA1c: ヘモグロビン エイワンシー。 ※2 CRP: C反応性蛋白。



CO₂センサ

cap-ONE
ORAL NASAL EXPIRATION

呼気に含まれる二酸化炭素の量を測定するCO₂センサ。「より安全な呼吸管理」を目指して開発したCO₂センサ「cap-ONE」は、重さわずか4gと超小型・軽量化に成功し、新生児にも使えるようになりました。さらに、CO₂測定と同時に酸素投与ができるマスクも開発。1つのマスクで酸素投与とCO₂測定ができるため、患者さんの負担が少なく、医療コスト削減にも寄与します。

